

(注) カードシリンダーが固定されているネジはむやみに緩めないでください。故障の原因となります。

1. 表面の切寸法図に従って扉に切込をして下さい。
2. 扉の開閉方向に合せ、ラッチボルト⑪の向きを定めて下さい。
3. ケース②を取付ネジにて締めて下さい。(この時デットボルトは引込めておいて下さい。)
4. フロント③を取付ネジにて取付けて下さい。
5. 注意シール⑨に書いてありますように、外側エスカチオン④の角軸⑤を勝手方向により、図-1の様に、角軸の赤マーク付溝部とケースのダルマ穴の突起部を合わせて下さい。
6. 注意シール⑨に従って内側エスカチオン⑦のカムの向きを勝手方向別に合わせて下さい。
7. 内側エスカチオン⑦上面のN側フタ⑧のネジを緩め、N側フタ⑧を上方へ引く様にして外して下さい。
8. 扉外側より、外側エスカチオン④の取付柱を扉の穴及びケース穴に合せて挿入して下さい。そして外側のレバーハンドル⑬を挿入し、エスカチオン④を押さえて下さい。
9. 扉内側より、内側エスカチオン⑦のサムターン⑩方向に注意して取り付け、又、内側のレバーハンドル⑭を取り付け、エスカチオンを押え、取付ネジにてゆるく締めて下さい。
10. この状態でサムターン⑩を90°回転させ、デットボルト⑫が出た状態でサムターンが水平方向になることを確認して下さい。(サムターンが回転しない時はダルマ穴と角軸の角度がずれていますので、外側エスカチオンを外し、角軸⑤を反対方向へ90°回転させて下さい。)
11. レバーハンドル、サムターンの調子を確認しながら、3本のビスを締め付けて下さい。その後、内側ハンドル⑭のトメネジ⑭を締めて下さい。
12. ストライク、トロヨケをラッチ、デットの方向に合せて、取付ネジで取付けて下さい。
13. 取付完了後、フロント、ストライク及びN側フタ銘板⑯の表面の養生シール⑭は、はがして下さい。
14. コードカードを扉内側より、矢印マークを上にしてシリンダーへ挿入し、K側よりカードを挿入し、“カチッ”と音がするまで押し、止めて、ハンドルを下げると同時に、デットボルトが、出又は没する事を確認して下さい。
15. 最後に、N側フタ⑧は、先の取り外しの逆の要領でN側フタ⑧にて、取付けて下さい。

**重要！ この取付けを間違えると動かなくなります。**

**右勝手** フロント側より見て、右側にカード部がある場合。

矢印方向へとまるまで回転させる(手前に引いて回す)

赤マーク溝部

矢印方向へとまるまで回転させる

デットボルトは引込めた状態にして下さい

ツマミは「縦向き」にして取付けて下さい

カム ツマミ

**左勝手** フロント側より見て、左側にカード部がある場合。

赤マーク溝部

矢印方向へとまるまで回転させる

デットボルトは引込めた状態にして下さい

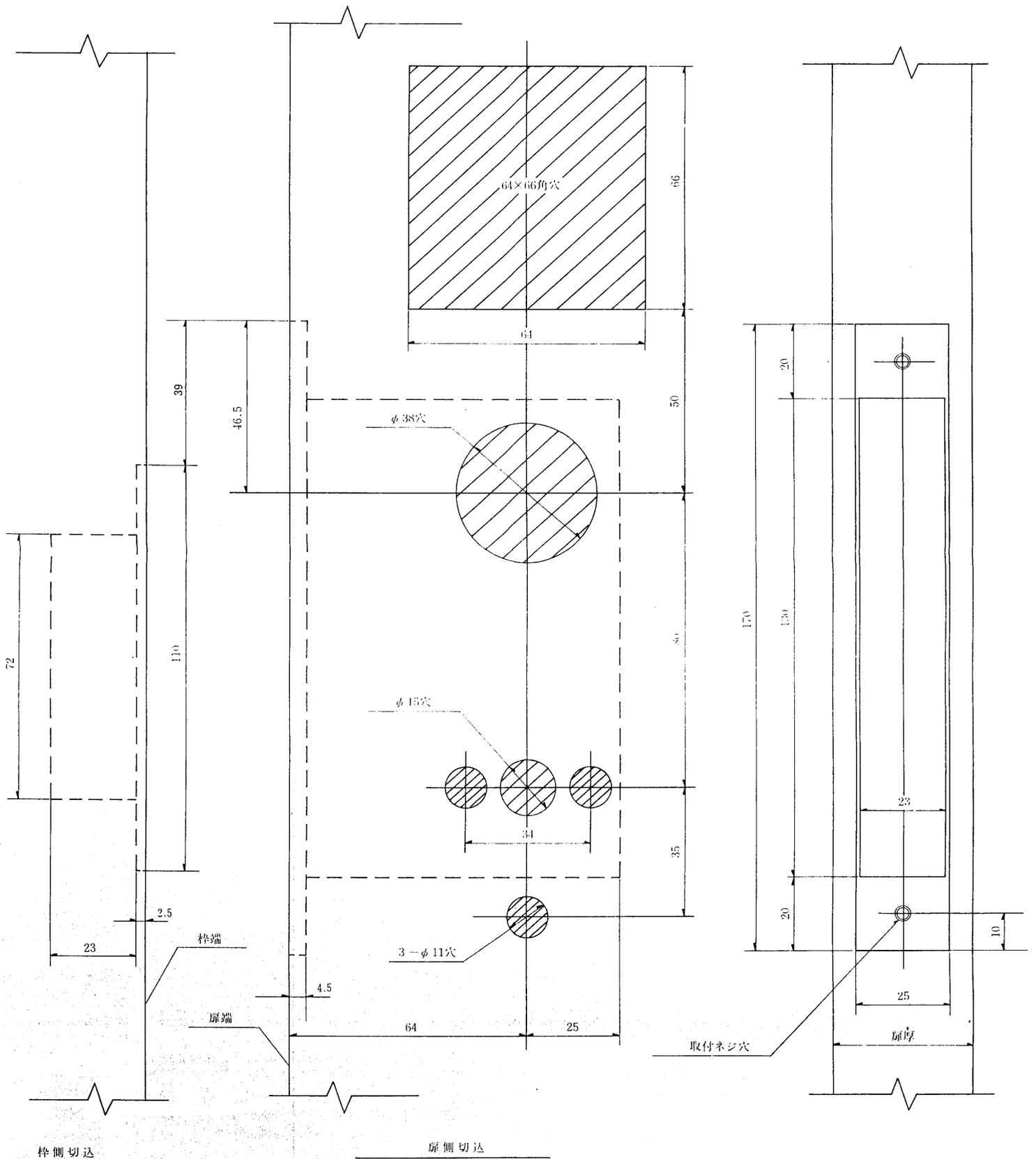
ツマミは「縦向き」にして取付けて下さい

カム ツマミ

**勝手方向合せ図-1**

(注)角軸を回転させる際、右または左へ90°完全に回転しない場合は、内部ユニットが施錠モードになっています。このときは下部のハンドル用カムボスを回転させ解錠操作を行って下さい。

MC20  
MC25 切込寸法図

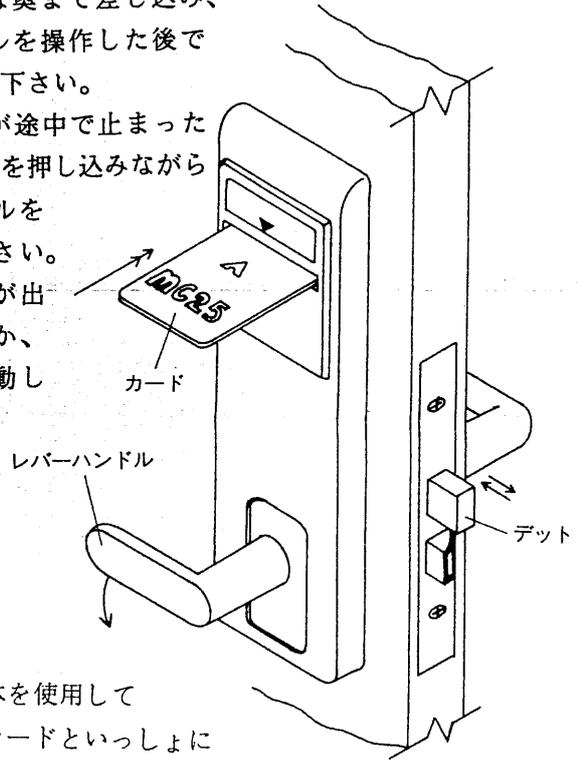


## 1. カードによる施錠操作

カードを挿入し、カチッと音がする位置まで差し込み、レバーハンドルを回して下さい。ハンドルを回すと施錠時（デットが出ている時）は解錠となり、解錠時は施錠になります。

カードの操作は奥まで差し込み、レバーハンドルを操作した後でカードを抜いて下さい。

デットボルトが途中で止まった場合は、カードを押し込みながらレバーハンドルを操作して下さい。デットボルトが出るか引っ込むか、どちらかに作動します。

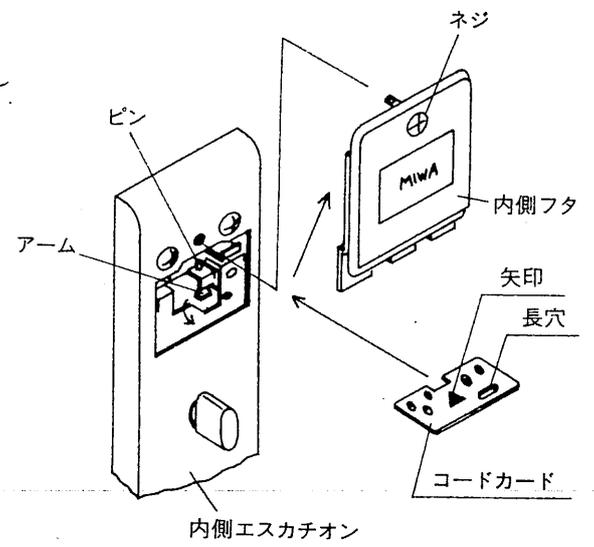


### 使用上のご注意

このカードは磁性体を使用しています。他の磁気カードといっしょに携帯すると、他の磁気カードに影響を与えることがありますのでご注意願います。

## 2. コードカードの交換、及びセット

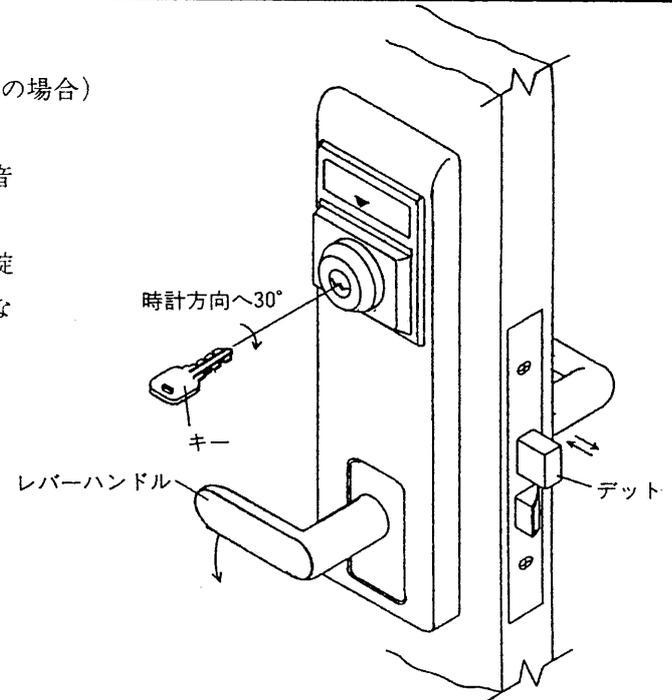
- ①ネジを緩め、内側フタを上方へ引く様にして外して下さい。
- ②シリンダー後端のアームを下げ、古いカードを取り出し、新しいカードの矢印側を上にして、図の様にシリンダーに挿入し、
- ③アーム上のピンがカードの長穴に確実に入る様にセットして下さい。
- ④新しいカードにて作動の確認を行なって下さい。



## 3. キーによる施錠

(MC25-1 キーシリンダー付の場合)

キーをシリンダーに差し込み、時計方向へ約30°（カチッと音がするまで）回して下さい。その後ハンドルを回すと、施錠時は解錠に、解錠時は施錠になります。



# 錠前の取扱上の注意事項

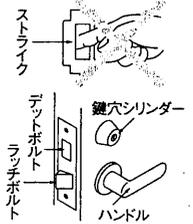
取付けをされる業者の皆様へ  
本書は必ず御施主様または御入居者様へお渡しください。  
取付要領は別紙取付説明書を参照してください。

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。  
製品を正しくご使用いただくために、この「錠前の取扱上の注意事項」をよくお読みください。  
お読みになられた後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

## A 危険防止のために

注意

- ①錠前の受け金具（ストライク）の穴に指を入れないでください。  
指を切ったりケガをする恐れがあります。
- ②錠前のハンドルやノブ、ラッチボルトにぶつからないように、気をつけてください。  
当ってケガをしたり、衣服を引っ掛けて転倒したりする恐れがあります。ドア付近でのお子様の遊びや、ドア付近に身体のご不自由な方や、お年寄りが立ち止まっていたりしないよう、保護者の方はご注意ください。
- ③ハンドルやノブにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。  
危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。



## B 御留意いただきたいこと

- ①スチール扉およびアルミ扉の場合、把手の取付部には補強材を入れてください。扉に十分な強度がないと、取付ネジ締め付けにより扉面がたわみ、錠が正常に作動しない恐れがあります。
- ②インボルトドライバーは使用しないでください。取り外しができなくなる恐れがあります。また締め過ぎると、作動に支障をきたす場合があります。
- ③錠前の取付ネジは必ず製品に同梱されている物を使用してください。
- ④錠前を落としたり、ハンマーで叩くなどの衝撃を与えることはさけてください。
- ⑤錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ⑥錠を掛ける時、デッドボルト（かんぬき）が出きかど確か必ず確認してください。鍵やサムターンをさきと最後返回すとデッドボルトは全部出きます。
- ⑦デッドボルト（かんぬき）を出したままドアの開閉をしないでください。デッドボルトの突起が身体に当たる危険があるばかりでなく、受け金具や枠を傷めます。
- ⑧錠には使用場所がわかる表示は付けないようにしてください。紛失した時に悪用される恐れがあります。
- ⑨マグネット（磁石）のついた錠は、その磁力で銀行カードやフロッピーディスク等に悪影響を及ぼしたり、逆に他の磁力により影響を受けることがありますので接触をさせないようにしてください。
- ⑩電線を有する機器については、電線を折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないように注意して取り付けてください。電線の損傷は作動不良の原因になります。
- ⑪錠前は、雨水等の水滴が直接かからないような場所でご使用ください。雨水等の水滴が直接かかる場所でご使用の場合は製品寿命が短くなる場合があります。

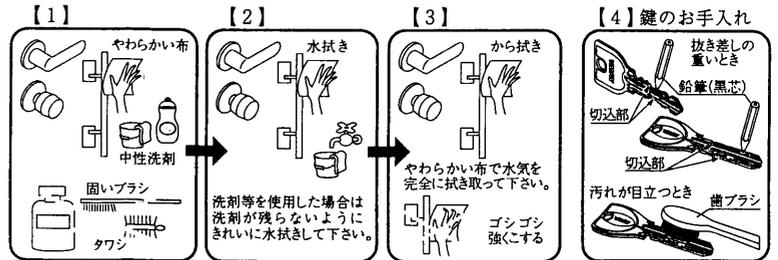
## C 永くご使用頂くために、メンテナンスについて

- ①錠穴に油や異物を入れないでください。鍵の操作ができなくなります。鍵の抜き差し、回転の操作がスムーズに動かなくなったら、鉛筆の黒芯の粉（黒鉛粉）又は錠前潤滑剤3069を錠穴に適量入れてください。油は注入直後は良くても、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。鍵が汚れた場合は、歯ブラシなどで、刻み部分や溝の汚れを掻き出してください。特にディンプルキーは、穴の底に汚れがたまりやすいため、定期的な清掃をおすすめします。清掃の際、酸やアルカリ・塩素などの化学薬品等で洗浄しないで下さい。
- ②錠ケース内にも、潤滑油や異物を入れないでください。錠ケース内の部品やグリス等に悪影響を及ぼし作動不良の原因となることがあります。
- ③錠前、受け金具、ハンドルやノブなどの取付けねじに緩みが生じたら、ねじの締め直しをしてください。
- ④メーカーの純正キー以外の複製キーをご使用の際は、キーのバリ、精度いかんによっては、シリンダーの作動に影響をおよぼすことがあります。スムーズに抜き差し、回転しない場合は純正キーをご使用ください。
- ⑤錠前の表面に金属装身具等で傷を付けないよう注意してください。傷の部分から変色したり腐食する場合があります。
- ⑥錠前は時々、やわらかい布で空拭きする程度の掃除をしてください。錠前の表面に汚れ、ほこりなどを付着したまま放置しますと変色、腐食します。掃除の際、酸やアルカリ、塩素などの化学薬品等で洗浄しないでください。又錠前に直接水をかけないでください。
- ⑦ドアがゆがんだり、吊り下がりが生じ、錠前がスムーズに動かない場合はドア全体としての専門家の修理が必要ですので管理事務所に、又、錠前が故障した場合は、速やかに管理事務所又は施工業者、弊社に修理、交換依頼してください。
- ⑧ステンレス材（フロント板、エスカション等）の表面保護シートは必ず剥がして使用ください。そのまま放置されますと、保護シートに付着している糊等の影響（劣化）により早期に錆が発生しやすくなります。又、ステンレス材が錆により変色した場合は、目の細かい紙ヤスリ等にて、変色部を除去することが出来ます。
- ⑨錠は湿気を帯びると比較的短時間で変色する事があります。鍵を保管する際は、湿気の無い、乾燥したところで保管してください。やむを得ず湿気の高いところで保管する時は、週に一回程度、乾いた布で拭く等のお手入れをお願いします。
- ⑩補修用部品の保有期間は製品の廃止後の10年が原則です。ただし補修方法及び補修部品の供給方法・期間は製品毎に異なりますのでお問い合わせください。

## お手入れの方法 汚れの程度によるお手入れの方法

水では落ちにくい汚れのお手入れ ……【1】【2】【3】を行ってください。  
 風雨のかかった後のお手入れ ……【2】【3】を行ってください。  
 軽い汚れのお手入れ（定期的な掃除） ……【3】を行ってください。

錠のお手入れ方法 ……【4】を行ってください。



# 美和ロック株式会社

本社：東京 東京都港区芝3丁目1番12号 〒105-8510 Tel:03(3452)5551(代)  
 支店：金沢 金沢市東力4丁目200番地 〒921-8015 Tel:076(292)0007(代)  
 名古屋 名古屋市中区千種3丁目3番13号 〒464-0858 Tel:052(731)0555(代)  
 大阪 大阪市東区東中浜5丁目7番35号 〒536-0023 Tel:06(6962)5551(代)  
 九州 福岡市中央区大手門2丁目4番14号 〒810-0074 Tel:092(741)5551(代)

営業所：札幌 札幌市中央区北5条西19丁目26番24号 〒060-0005 Tel:011(621)5155(代)  
 仙台 仙台市青葉区一番町1丁目14番23号 〒980-0811 Tel:022(224)5551(代)  
 横浜 横浜市保土ヶ谷区上星川町330番地4 〒240-0042 Tel:045(381)5552(代)  
 広島 広島市西区小戸内町2丁目1番33号 〒733-0025 Tel:082(295)5551(代)  
 高松 高松市今里町2丁目10番地20 〒760-0078 Tel:087(862)5551(代)  
 沖縄 沖縄県那覇市泊3丁目1番23号 〒900-0012 Tel:098(867)5551(代)